

# ごみ減量のために

分別は大切な地球環境を守る第一歩。  
地球を守るため、限りある資源を無駄にしないためにも、  
わたしたちにもできることから始めましょう



資源回収・  
ごみ収集日  
P.1 - P.2

資源・ごみの  
出し方  
P.3 - P.12

区の補助制度  
P.13

多量に出るごみ  
動物死体  
P.14

区の施設での  
資源回収  
P.15 - P.17

区では回収  
できないもの  
P.18 - P.19

不法投棄  
事業系ごみ  
P.20

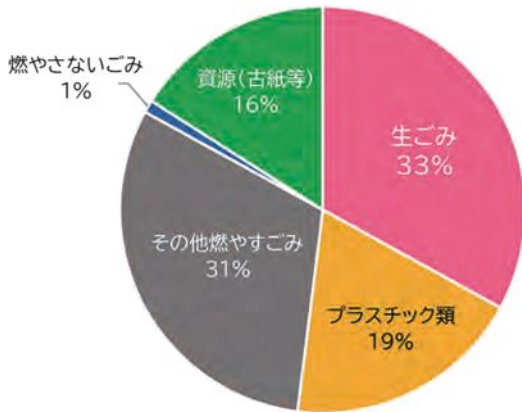
資源・ごみの  
分別 (五十音順)  
P.21 - P.27

ごみ減量の  
ために  
P.28 - P.29

災害時の  
ごみ収集  
P.30

施設案内・  
問合せ一覧  
P.31

## ●●●●● 荒川区の「燃やすごみ」の中身は？ ●●●●●



令和元年度荒川区ごみ組成調査報告書より

### 燃やすごみの第1位は「生ごみ」

荒川区の家庭から出される「燃やすごみ」の中身のうち、「生ごみ」は33%分を占めています。

生ごみの約80%は水分と言われています。  
生ごみを出す前にひと絞り  
「水切り」をするだけで、  
ごみの量を大きく減らす  
ことができます。



また、生ごみの中には、未開封の食品等、食べることができるのに捨てられてしまう「食品ロス」も多数あります。食べ残しや買い過ぎをしなない等、工夫して食品ロスを減らしましょう。

区では家庭で使われず眠っている缶詰等を持ち寄る「フードドライブ」という活動も行っています。ぜひご協力ください（詳しくはP.17）。



その他にも、ごみの中身は資源も約16%混入しています。そのほとんどがリサイクルできる紙の資源「雑がみ」です（雑がみの詳細はP.6）。

雑がみは捨てずに分別し、資源として出しましょう。

ごみを出す前にしっかりと資源を分別して出せば、ごみを処理する費用を減らすことができます。ご協力をお願いいたします。



## スリーアール ごみを減らす「3R」

**Reduce(リデュース)**  
ごみになるものを減らす



- レジ袋ではなく、マイバッグを利用する。
- ごはんを残さず食べる。

**Reuse(リユース)**  
くり返し使う



- 容器をくり返しつかう。
- フリーマーケット等を利用する。

**Recycle(リサイクル)**  
資源を再生



- 資源を分別する。
- リサイクル製品を積極的に使う。

# 食品ロス削減の推進

「食品ロス（フードロス）」とは、賞味期限切れや食べ残し等で、食べることができるのに捨てられてしまう食べ物のことです。区では、食品ロス削減のために「荒川もったいない大作戦」を展開しています。



詳しくは左記の  
二次元バーコードを  
ご確認ください

主な活動として、家庭で使われずに眠っている缶詰め等の食品を持ち寄り、食料の確保が困難な団体や個人などに提供する「フードドライブ（詳しくはP.17）」や、区内の飲食店・小売業を営んでいる事業者の方と協力した「あら！もったいない協力店」を展開しています。

## もったいない協力店

荒川区では、食品ロスを減らすために、区内の飲食店・小売業を営んでいる事業者の方と協力した「あら！もったいない協力店」を展開しています。

もったいない協力店では、量の調節を希望するお客様への対応や、ばら売り等の食料品の販売、フードバンク（包装の傷み等で、品質に問題がないが市場で流通出来なくなった食品を、生活困窮者等に配給する活動）への寄付等の取り組みを行っております。

協力店検索や応募等の詳細はホームページをご覧ください。



このステッカーが目印！



ホームページは左記の  
二次元バーコードを  
ご確認ください

## プラスチックの資源化

プラスチックは、焼却すると地球温暖化の原因となる二酸化炭素などを発生させる他、ポイ捨てなどが原因で、河川に入り、海へ流れ込みます。海へ流れ込んだプラスチックは、自然環境で分解されにくいいため、海洋汚染につながり、生態系にも悪影響を及ぼします。

区では、プラスチックの有効活用を図るとともに、より一層のごみ減量に取り組むため、プラスチックの資源化を段階的に拡大していくことを検討しています。

### プラスチックとして出せない「禁忌品」

プラスチックに混入している**点滴パック等の医療系廃棄物・かみそり等の刃物類・ライター・電子たばこ・電池・充電式小型家電（イヤホン、ハンディ扇風機等）は、収集時や処理施設等で作業する際に危険な「禁忌品」と呼ばれています。**